

第 8 回 松江市における公園のあり方協議会 議事録

日時：令和 6 年 1 月 25 日（木）

午前 10 時～

会場：松江市役所本庁舎西棟 5 階
防災センター

1 開会

（公園緑地課 藤原課長）

それでは予定の時刻になりましたので、ただいまより第 8 回松江市公園のあり方協議会を開催します。

私、本日の進行を務めます公園緑地課長の藤原でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、足下の悪い中お越しいただきありがとうございます。昨年 12 月にはこれまでの 2 年に渡り意見交換をいただきました公園のあり方について市長への提言をいただき、本協議会の最大の目的を果たせたことに感謝します。この第 8 回の協議会が、委員の皆さまが一同に集まり、協議いただく最後の回となります。提言書を元に、方針をまとめたものが方針書として形となりましたので、これまでの仮称を改め、このたび「MATSUE Park Vision」と命名させていただきました。

一方、取りまとめ期間中の元旦に能登半島で大地震が発生し、甚大な被害と多くの犠牲者が出ました。被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。この震災によりまして、公園は避難場所や緩衝地として重要な役割を担うことを改めて認識しました。そうした機能についても、この「MATSUE Park Vision」で市民の皆さまに強くお伝えしたいと思います。

また、この「MATSUE Park Vision」は市民の皆さまの関心度が非常に高く、「松江市公園のあり方提言書」の提出について新聞記事が掲載された日には、さっそく本課へ問い合わせの電話がありました。その他、公園の機能転換、一部で払い下げについて要望も出ております。1 日も早く「MATSUE Park Vision」を示して、今後の本市の公園整備に活用したいと思っております。本日の話し合いの意見を反映させて、より一層分かりやすいものとして送り出したいと思っておりますので、委員の皆さまには積極的にご意見をいただきますようお願い申し上げます。

本日は、11 名の委員のうち 7 名ご出席いただいております。委員の過半数に達しておりますので、協議会は成立となります。

なお、本日の協議会は公開で行わせていただきます。本日の協議会で出ましたご意見や資料等は市のホームページに掲載させていただきます。内容をオープンにしながら進めたいと思っておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、早速議題に入らせていただきます。要綱の第5条第2項にもとづき、会議は委員長が議長となりますが、本日は小林委員長が欠席なので、第3項に基づき副委員長の長岡委員に司会をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

2 議事

(長岡副委員長)

副委員長の長岡です。本日小林委員長欠席ということで、私が進行を務めさせていただきます。さきほど藤原課長からご挨拶ありましたように、この会議も本日最後であります。

それでは、議事次第に従いまして、議題(1)「MATSUE Park Vision (案)」について事務局から説明をお願いします。

(公園緑地課 石倉係長)

それでは、議題(1)について説明させていただきます。

作成にあたりましては、先月提出していただいた提言書の内容はもちろんのこと、過去の協議会で委員の皆さまからいただいたご意見なども反映させていただこうと思っています。今後も助言をいただきたいと思っています。

まず、お手元の資料をご覧ください。これまで皆さまにお示ししていた方針書とはガラッと変わり、最終的に市長から市民の皆さまにわかりやすく伝えるためには、文字よりも写真などの見目で印象を与えるようにと12月15日に指示がありました。松江市で作成した「松江市観光戦略プラン」が非常に良い例になるとのことでしたので、そこから発想の転換を行い、これまで文章で伝えようとしていた事を写真で伝えるというように大きく変更しました。松江市の公園をどう伝えるかと事務局で考えたのが、市内の公園を全面に出していきたいという考えでした。関係部署や業務委託先の社員の方にご協力いただき、昔撮った写真がないかと色々探して写真を見つけました。表紙と次のページは白潟公園です。今年度行われた社会実験において、バンドをしている様子です。もう1ページめくっていただくと、市の職員が交流会で宍道総合公園のサバゲーを行った時の写真です。次のページは社会実験の時の一コマですが、宍道湖と宍道湖大橋が背景にあります。「MATSUE Park Vision」の副題として、“日常の「やりたいが叶う」”というように自分達の庭のように使っているイメージでこの写真を載せました。次のページには「居場所をつくるもの」として岸公園でのサンセットカフェの写真を載せました。次のページに「もっと使いこなそう」では、公園では直火禁止ですが、コンロなどのキャンプ用品を使えばバーベキューをしても構わないという例で、こちらも社会実験からの写真になります。

次のページが「MATSUE Park Vision 策定にあたって」と目次です。今回はライフスタイル別、シーン別、みんなの声、Park Vision、の4章立てで、最後に資料編をつけています。

次のページをご覧ください。第1章ライフステージ別「公園の魅力」です。

1 ページは、「ママのお腹の中でお散歩」です。生まれる前から公園を使ってもらいたいと示したいところです。現在はイメージでして、実際の写真は妊娠中の職員にモデルの依頼をしておりますので、後日差し替えようと思っています。

2 ページの写真は秋鹿湖畔公園（松江フォーゲルパーク）の写真です。

3、4 ページは「ベビーカーでお散歩」ということで、四季ヶ丘西街区公園、持田グリーンハイツ緑地、西灘公園、秋鹿ふれあい団地公園、田和山東広場公園を載せています。公園アンケートで「あなたのお住まいは？」の問いに公民館区内の公園、「気に入っているところ」は身近な公園だからという意見が多く載せています。

5 ページをご覧ください。「小さな子ども連れ」では北公園のミニ遊園地の写真を大きく載せています。現在は閉園期間中ですが、秋に撮影した良い写真がありましたので載せています。6 ページは松江湖畔公園（白潟公園）です。

7 ページで「幼児のころ」です。意東ゆめ公園は目の前に（通称）意東幼稚園がありまして、日常的に園外保育に利用されていますので、園長先生からこの写真をご提供いただきました。

8 ページは比津が丘東児童公園、うぐいす公園、玉作公園です。

9 ページをご覧ください。小学校低学年になると、自分達で遊具で遊べるようになり、市内の遊具がある公園の例として、北公園、照床児童公園、城床ふるさと公園の写真を載せています。

11 ページ「友だちと元気に遊ぶ」です。松江総合運動公園では一昨年の12月にバスケットゴールとミニバスケットゴールを2基ずつ整備し、スサノオマジックのロゴを無償で使わせてもらっています。中央は松江湖畔公園（白潟公園）での社会実験の写真です。

13 ページです。「仲間と過ごす」ということで、昼間ボール遊びをしたり、バーベキューをしたり、夜に焚き火をしている写真を載せました。

15 ページ「大人時間」です。松江湖畔公園（白潟公園、末次公園、岸公園）で写真のような使い方をしている紹介です。

17 ページをご覧ください。「大人が子どもに還る時間」ということで、城床ふるさと公園で人工芝を滑る写真を載せています。

19 ページ「スポーツに汗を流す」です。松江総合運動公園のサブグラウンドでサッカーをしている写真、多目的広場でのスケートボード、北公園でテニスをしている写真を載せました。

21 ページ「健康寿命を延ばす」です。松江湖畔公園（白潟公園）でヨガをする風景、法吉住宅団地西公園では健康遊具を使っている写真、松江湖畔公園（岸公園）ではジョギングをしているイメージを載せております。

次のページは第2章シーン別「公園の魅力づくり」です。

23 ページをご覧ください。先般の協議会でも雨の日の居場所がないかという質問が出まし

たので市内で探しました。写真は松江市役所だんだんテラス 1 階でイベントをしている風景です。右下は松江だんだん道路の高架下の写真を利活用のイメージとして載せました。

25 ページ「防災の役割も」ということで、実際に自衛隊と一緒に八束千本桜公園で避難訓練をした様子です。マンホールトイレにつきましては、令和 4 年度に松江総合運動公園の野球場 3 塁側に設置しております。かまどベンチは、厚木市より使用許可をいただいて使わせていただきました。

27 ページ「誰もが使い、誰もが一緒に楽しめる」です。公園の機能に求められるインクルーシブというものです。年齢、性別、障がいの有無や言語の違いに関係なく、誰もが一緒に使える、楽しめる公園ということです。写真は大塚山公園のインクルーシブ遊具です。右上は総合運動公園のサブグラウンドの手前にあるトイレ、右下には北公園の思いやり駐車場を、インクルーシブデザインということで載せています。

次のページは第 3 章みんなの声「公園の現状」です。

29 ページをご覧ください。令和 4 年 9 月から令和 5 年 12 月まで公園のアンケートを行って回答が 555 件あり、集計結果を載せています。まず「属性からみた利用状況」は、30 代、40 代の利用が多いです。誰と利用するかというと家族（子ども連れ）が 68. 3%、お住まいは公園がある公民館区内が 65. 4%、主な交通手段はとの問いに徒歩が 66. 1%、公園に来た目的は子どもを遊ばせるが 63. 6%、利用頻度は週 1~2 回程度が 29. 5%と最も多く、次いで月 1~2 回程度が 24. 7%となっています。

子育てをしている 30 代 40 代の方が身近な公園に歩いて来られているということが非常によくわかる回答でした。

31 ページをご覧ください。「利用した公園の満足度」では、落ち着きや雰囲気、花や緑、散歩や憩いの場、という回答が満足度の上位 3 つでした。満足度の下位には、水飲みやトイレの利用が挙がっています。公園の気に入っているところについては、先ほどの回答から導き出せるように、身近な公園だからという回答が一番多かったです。

32 ページ「公園に望むこと」では、年代別の回答を載せました。「市民の声」のポイント 3 つはお読み取り下さい。

33 ページ「若者の声」では、令和 5 年 2 月に島根大学小林先生のゼミの学生さん中心に P B L 研修という授業の一環として公園整備案の検討に取り組んでいただき、市長副市長の前で、学生がプレゼンテーションを行った様子を載せています。

34 ページには、松江商工会議所青年部から提言書をいただき、その中で公園の商業的利活用に関する情報の発信、オンライン上で完結する申請についての提言をいただきました。実際この提言書の中にあったパークフルというアプリについては、松江市は連携登録しており、松江市の公園情報をパークフルで見ることができます。まだ情報連携が途上であるので、これからも情報の更新を続けて、皆さまに使っていただけるようにしていきたいと思えます。

35 ページは公園を愛する人達の声ということで、令和 2 年度に実施した「公園愛護団ア

ンケート結果」を掲載しています。愛護団構成員は「自治会・町内会」が 80.4%と多く、愛護団の活動人数は「50人以上」が多くありました。この「MATSUE Park Vision (案)」作成の過程で愛護団の構成員が高齢化しているという話を聞いていましたが、このアンケートを読みましたところ、愛護団を自治会の子供会の活動として行っていて、楽しくさせてもらっていますなど前向きな意見もありました。

次のページは第4章 Park Vision です。

37 ページは「基本項目」として、目的等を記載しています。この「MATSUE Park Vision (案)」の位置づけとしては、最上位に「松江市総合計画」があり、その下位計画として「松江市都市マスタープラン」「松江市みどりの基本計画」と続き、「MATSUE Park Vision」を策定するという流れになります。

38 ページは協議会開催状況等を載せています。

39 ページは「松江市の公園の現状」になります。松江市の公園分布の地図があり、40 ページにはアンケートの回答が多かった公園を上から順に並べてみました。菅田公園が 51 件、北公園が 41 件と、それ以下は 10 件程度の回答、大半が 1~2 件です。

41 ページは維持管理の現状でございます。開設時から 20 年以上経過したものが 67.5%、使用禁止になっている遊具が増加しており、公園数と公園管理費が年々増加している状況であります。

42 ページです。公園の維持管理は 4 分の 1 が管理されていないが、その反面 75.3%は管理されており、その大半は愛護団が管理している状況です。右下は公園愛護活動の内容です。清掃や除草、公園施設の点検を年 2 回以上行い、それに対し市から報償費の支払いをしています。必要な資材については現物支給をしており、一緒に買いに行くこともあります。また、設立勸奨ということで、今まで自主的に活動されていた方に愛護活動を紹介すると、やりましようとなった例が昨年は 2 件ありました。その内、青葉台地区については、自治会の総会に説明に行き、砂場が邪魔なので囲いのコンクリートブロックを撤去してほしい、石が転がっているから撤去してほしい、桜の木が邪魔だから切ってほしい、という意見がありました。整備した 1 ヶ月後くらいに集まりを開催されたところ当初 20 人の予定が 80 人来たとお礼の連絡をいただきました。また、愛護団の課題としては、構成員の高齢化があげられています。

43 ページをご覧ください。「松江市の公園の目指すべき姿」ということで、皆さんで作られた提言書を反映したものですので、お読み取り下さい。

45 ページでは今後どういった戦略で整備していくかということです。「主要な公園の戦略」「戦略 1、目的や魅力の最大化」の方法として、「わくわくする遊びの施設を設置」、「水辺の公園で水に親しむ」、「美しい景色を楽しめる展望台を整備」、「人の集まる公園は民間企業と連携して運営」などを示しています。

48 ページ「地域の公園の戦略」「戦略 1、目的や魅力の最大化」をご覧ください。遊びや野菜栽培・自然体験などの活用イメージとして、朝酌幼稚園、大塚山公園、城西ニコニコ広場、

川津幼稚園などの写真を載せています。

49 ページ「戦略2、機能転換・分担を検討」のイメージ図の意図は、これまで砂場、滑り台、鉄棒があるというような、どこも同じような公園を大小作りましたが、今後は公園の機能を分け、遊具に特化した公園、ボール遊びが出来る公園、くつろげる公園、幼児が利用する公園、キッチンカーが来る公園など、公園ごとに目的を分けていきたいという将来のイメージです。ちなみにこの写真の公園はどこかわかりますか。全部市内の公園です。違う角度から見ると全然違う公園に見えます。特にこのくつろげる公園というのは城東都市緑地と言いまして、松江赤十字病院の横の堀川沿いにある公園です。

51 ページ「戦略3、現状維持」、「戦略4、機能転換・用途変更を検討」と続きます。松江市の写真を載せようと思っていますので、これから差し替えしようと思います。

53 ページ「維持管理」では、「わかりやすい情報発信」として公園愛護通信を年1回発行しており、フリーペーパーでも紙面をお借りして紹介しています。「市民参画の機会を増やし、公園をより美しく」ということについては、愛護活動の様子や、新たな発想で公園の魅力を引き出す取り組みとして昨年の島根大学の学生の発表を載せております。

55 ページをご覧ください。実現に向けた取り組みということで、文章を作るにあたり、この会議が始まった頃はコロナが蔓延していた時期でして、コロナ前後ではわたしたちの生活や働き方は大きくかわりました。これを踏まえて今後に向かっていけないといけないと、従来の方針ではなく、多様な公園関係者の声を聞きながら、公園の整備を進めていきたいという考えでこのページを作成しました。

次のページの資料編ですが、基本的にこれまで公園のあり方協議会でやってきたことのまとめとなっています。小林委員長と長岡副委員長が提言書を市長に提出した様子や、会員の皆さまの名簿や設置要項、続いて提言書の全ページを載せています。

最後のページですが、主要な公園の整備カルテということで、今回は松江総合運動公園だけですが、提言書の中にある8つの主要な公園のこういったカルテを載せて、最終的にこの「MATSUE Park Vision (案)」を完成させたいと思います。

事務局からの説明につきましては、以上となります。

(長岡副委員長)

ありがとうございました。ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

個人的には写真が盛りだくさんで、わくわくしながら読みたくなる方針書だと思いました。目次のところで「MATSUE Park Vision」策定にあたっての説明の文章が明らかに小さいので、ポイントを上げたら良いと思いました。34 ページの松江商工会議所青年部提言書の説明文字がぼやけています。もう少し読みやすい字体が良いのではないかと思います。44 ページの「3-1.主要な公園の目指すべき姿」のところも文字がぼやけているように感じます。49 ページの「機能転換・分担を検討」のところも説明の文が薄くなっているのではっきりさせた方が良いと思います。

(公園緑地課 石倉係長)

ありがとうございます。ご指摘以外にも文字の鮮明度、解像度を上げたほうが良い箇所があるので、今後修正します。

(加瀬委員)

44 ページですが、「2 宍道総合運動公園」になっていますが、「宍道総合公園」が正しいと思います。56 ページの今後のところで「整備検討委員会」や「公園協議会」の設立とありますが、スケジュールはどうなっていますか。

(公園緑地課 石倉係長)

具体的には、現在宍道総合公園で公園協議会が立ち上がっており、今年度中に美保関総合運動公園で立ち上がります。松江市として整備をしたい公園があれば、その都度地元で相談をし、立ち上げていくというイメージです。

なお、現在揖屋ふれあい広場、松江湖畔公園（千鳥南公園）、北公園周辺のあり方も検討していますが、千鳥南公園については、松江市として違う位置づけで捉えております。必ずしも公園協議会ありきではなく、公園のおかれた実情に沿った形で個別具体的に検討し、行政主導ではない方向で公園整備に取り組めたら良いなと考えています。

(加瀬委員)

ありがとうございます。利用される地域の方からの要望があれば、必要に応じて協議会が立ち上がるというイメージですね。市民の方にはどうやって知らせるのでしょうか。

(公園緑地課 石倉係長)

まずはこの「MATSUE Park Vision」を知ってもらうことからです。

(長岡副委員長)

他の委員の方、ご意見ご感想がございますか。

(小谷委員)

このビジョンが 2033 年までとなっています。一方で「松江市公園のあり方提言書」の 10 ページ、まとめの最後の行で「数十年後に評価される公園整備に取り組まれることを委員一同願っています」とあります。数十年後では長すぎて、わたしはもういない。目標は先ですが、せめて 10 年後にしてほしい。ここで数十年後とスパンを延ばしてしまうと薄まってしまうと感じました。

(公園緑地課 石倉係長)

ご指摘の部分について作成段階では関連を想定しておりませんでした。10年単位で提言書として提出していただき、それを受けて「MATSUE Park Vision」に反映したと考えています。

(長岡副委員長)

提言書として既に市長に提出しており、今から変えるわけにはいかないのです。10年単位で評価をしていくという形が重要だと思います。

(石川委員)

29、30ページのところで、令和5年8月までの集計結果となっているのは、12月までの間違いではないでしょうか。

(公園緑地課 石倉係長)

ありがとうございます。修正します。

(加瀬委員)

この「MATSUE Park Vision」は冊子になるのでしょうか。ホームページに載るのでしょうか。

(公園緑地課 石倉係長)

ホームページにも載せます。パブリックコメントをする際、全ての方がホームページを見られるわけではないので、公民館と支所・本庁舎の行政コーナーに冊子を置く予定です。冊子とホームページの2本立てで考えています。

(加瀬委員)

やはりSNSで見られる方も非常に多いと思うので、3分でもいいので動画があると周知が広がると思います。

(公園緑地課 藤原課長)

冒頭でもお話したように我々もこのような形でまとまることを想像していませんでした。市で作成している交通計画や総合計画でもまず初めに読んでみて、読みやすく視覚から入ってくるものを目指しています。加瀬委員からいただいたご意見は、私もまったくその通りだと思っています。動画があれば、計画に対する印象度はあがると思いますが、そうした素材をこの2年間で集めてきていません。今回の写真についても、短期間で各団体の方からのご協力を得てここまで出来ました。技術的、予算的、期間的なものがあれば動画も良かつ

たと思いながら話を聞いていました。現実的には、3月末に向けて準備することは非常に難しい状況です。今後違う計画でこうした場面があれば、このご意見は反映させていきたいと思いをします。

(加瀬委員)

もちろん短期間でできるものではないと思っています。娘が高校生で、スマートフォンでよく動画見えています。今後の他の松江市の計画でも、動画を作成するという意識でやっていると周知が広がるのではないかと思います。若者に知ってもらうためには必要だと思います。かなり大変なことだと思うので、一意見としてお願いします。

(長岡副委員長)

他の委員の方、いかがでしょうか。

(落合委員)

マーブルさんや山陰中央テレビさんなど、テレビの情報広場のような場所でPRができればいいと思います。

(公園緑地課 藤原課長)

市の持っている宣伝媒体である SNS、ホームページだけでなく、利用できるメディアがないか、広報課と相談しながら積み上げていきたいと思いをします。メジャーなメディアを使える方法を模索していきたいと思いをします。

(長岡副委員長)

以上で議事についての質疑は終わります。

続いて、進行を事務局にお返ししたいと思います。

(公園緑地課 石倉係長)

長岡副委員長、ありがとうございました。

その他として、事務局から1点ございます。今後2月15日から3月14日までパブリックコメントを行う予定です。発信の方法は、市報の3月号、松江市のホームページ、本庁・支所の行政資料コーナー、公民館、公園緑地課に資料を設置してご意見を募集しようと思いをしています。

本日の議題は以上となります。ありがとうございました。

(公園緑地課 藤原課長)

今後のスケジュールについて補足です。この協議会を終えた後、内部のコンセンサスを整

えます。そうした中で上の方から色々意見がでると思うので、追加や変更があることをご承知おき下さい。内容についてはメール等でお知らせします。この資料をお持ち帰りいただき、細かい訂正等、お気づきになった点があれば早めに教えていただきますようご協力をお願いいたします。

最後に事務局からのお願いです。冒頭でもお伝えしたとおり、今回の第 8 回が最後のあり方協議会となります。これまでご協力いただいた皆さまに、せつかくですので一言ずつ感想ご意見をお願いしたいと思います。

(加瀬委員)

参加させていただきありがとうございました。自分の住んでいる地域でこうやって整備が進んでいくという過程を初めて知りました。自分自身でも発信していきたいし、もっともっと皆さんに知っていただけるとより良いまちになると思いますので、これからも協力していきたいです。

(竹下委員)

この協議会に参加させていただきありがとうございました。松江市の公園の現状、課題がよく分かり勉強になりました。公園の利用については子育て世代の方の関心が高く、パブリックコメントを集める際は、できるだけそういった方にご意見を積極的に頂けるようにしてほしい。松江商工会議所青年部の提言書にもありましたが、パークフルというアプリについてももっと告知をお願いしたいです。「MATSUE Park Vision」が公園の活用に活きればよいと思います。

(長岡副委員長)

副委員長を務めさせていただきありがとうございました。公園の現状を知ることができ、大変勉強になりました。ゼロからつくったものが素晴らしい方針書になったことは、他の協議会のモデルとなるようなものが出来上がったと思っています。松江市の公園がより良いものになっていくよう、我々も協力していきたいのでよろしくお願いします。

(小谷委員)

近くの公園では遊んでいる子がいない、荒れていますよ、などの意見を言うくらいの認識で会に参加させていただいていました。北公園のような大きな公園には人が集まり、地域の公園は寂れていくばかりと思っていましたが、「MATSUE Park Vision」ができて地域の公園ももっと活性化できるという前向きな思いになりました。若い世代は子育てアプリを活用して色々な活動に参加されていると聞くので、もっとリンクさせて公園の提言についてもお知らせできたらよいと思います。インクルーシブなど、高齢者や障がいのある子どもたちにも開かれた公園というのを全面的に出してほしいと思います。

(石川委員)

参加させていただきありがとうございます。「松江市みどりの基本計画」から携わってまして、その時には考えられなかったとても良いものができたと思います。今後は市民の皆さまに周知していく方法が活かされていくといいなと思いました。

(落合委員)

あまり出席できなくて申し訳ございませんでした。スポーツの分野での参加でしたが、あまり発言できませんでした。とても素晴らしいものが出来上がったので、市民や利用者の皆さまに周知していく方法を考えていました。スポーツ分野で、バスケットコートを作った島根県西部の町の事例もありますので、スポーツ面で特化した公園を作っただけならありがたいと思います。

(今井委員)

2年間、参加させていただきありがとうございます。一般公募で作文を書きましたが、トイレの整備と利益を生むような公園があるといいという思いが、今回反映されて目標が形になりそうで嬉しく思います。職員の方がこういうお仕事をされていると初めて知り、イメージが変わりました。早く形になり、子ども達に公園が提供されることを願っております。

(公園緑地課 藤原課長)

皆さま、色々な思いを伝えていただきありがとうございます。

最後に事務局からも一言ご挨拶を申し上げます。閉会にあたりまして、これまでご協力をいただき皆さまに感謝申し上げます。本来であれば、都市整備部長の井上が申し上げるところですが、本日所用により欠席となり、代わって私が述べさせていただきます。

今回は、令和4年7月に第1回を開催し、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、日常生活においては3密の回避や不用な外出の自粛が求められる中での協議会の運営で、特別な配慮が必要な難しい運営をせざるを得なかった状況でした。こういう状況下でありながら、皆さまにおかれましては協議会の委員に就任していただき、実に8回の協議に時間を割いていただいたこと感謝いたします。

公園は小さな子どもから高齢者まで憩いと安らぎをもたらす開かれた空間であり、多種多様な使い方ができる場があります。ここ数年は新型コロナウイルス感染症への対応により価値観が多様化し、日常生活が変化したことから、公園においても機能とあり方の見直しを求められる中で検討を進めていただきました。昨年12月には「松江市公園のあり方提言書」をまとめ、市長に提出いただいたところです。今後は、この提案書の内容を具現化するため、作成中であり「MATSUE Park Vision」を実りあるものとして、市民の皆さまに愛される公園として、整備や維持管理を進めて参ります。

最後になりますが、本日で協議会としての活動は終了となりますが、これまでの運営にご協力いただいたことを改めてお礼申し上げますとともに、引き続き本市の公園行政にお力添えをお願いさせていただきまして、簡単ではございますが閉会の挨拶とさせていただきます。2年に渡り大変お世話になりました。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第8回松江市における公園のあり方協議会を閉会させていただきます。皆さま本当にありがとうございました。